

新詩撰少女唱歌

鏡 簾 樂 譜

高等女学校参考用

第五十一編

雨

乙女の心

〔二部合唱〕

〔童謡〕

主幹原田比古士皮
成樂會編

乙女の心

〔二部合唱〕

犬童珠溪作歌
北米高女教科用曲

快活に

ミヤ	マ	ノ	シ	ラ	ウ	メ	カ	タ	カ	ネ	ノ	サ	ク	ラ	カ	ツ
たに	ま	の	し	ら	ゆ	り	か	い	け	な	る	は	ち	す	か	つ
キシ	メ	ノ	フ	ザ	ナ	ミ	カ	ウ	ツ	ム	ク	ス	ミ	レ	カ	ツ

乙女の心

犬童球溪作歌

- 一、深山の白梅が高嶺の櫻か
ほゝふむ其様春日の如く
霧だに誇らず色香ゆかしく
清げく美はし乙女の心。
け高く尊とし乙女の心。
- 二、谷間の白百合か池なる蓮華か
和める其様薄絹にも似たる
霧だに汚れず薫り放ちて
清げく美はし乙女の心。
け高く尊とし乙女の心。
- 三、岸邊の藤浪か俯く菫か
邁れる其様何に例へん
露だに驕らず頭垂れつつ
清げく美はし乙女の心。
け高く尊とし乙女の心。

雨

傳田治朗作歌

- 一、雨がふるふるお庭の花に
赤い色にたまつては
雨がふるふるたえまなく
赤い花の露さなり
- 二、雨がふるふるお庭の池に
黄いはなになまつては
雨かふるふるこんこんと
黄いろのつゆとなる
かへるの背にもふつてきえ
金魚の尾にもふつてきえ
おもちやの小さいポットにも
ふつてはきえるたえまなく

【品賣非】

昭和四年七月一日印刷
昭和四年七月五日發行

この月刊樂譜は毎月頭(三八月休刊)小
数の頗る熱心眞面目の同好者に限り分
配するものであります、従つて賣品扱
ひや他に轉載謄寫の儀は絶對に御断り
致します、もし御希望の御方は直接成
樂會代表者に御ハカキ願ひます。
(團體特別扱ひ、是非一度乞御照會)

靜岡市東鷹匠町五二

編輯兼
發行者

成 樂 會

右代表者 原田彦四郎
振替名古屋一〇二四八番

福岡市大學通り二丁目

印刷所

樂譜印刷研究所
右代表者 大橋利康